

## 中等科・高等科

### 校舎改修

池谷 信保

2018年度から開始した学校改革と2024年度からスタートする共学化に向けて、中等部・高等部の校舎改修が下記の通り実施された。

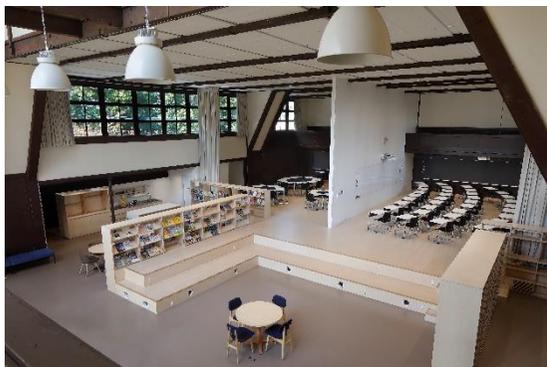
#### 1. 中等部 ラーニングcommons (旧・男子部体操館)

体操館という開放的な空間が、2つの教室や使い手が用途に応じて多目的に使える空間に改修された。

新たにトイレと流し台などの水回り設備も付け加えられ、日々生徒達が集う新しい空間として利用されている。

ロッカーの扉は名栗植林地や学内で切り出された木材を使用し、生徒と教職員が作製した。

(工期:2022年10月1日～2023年4月15日)



中等部ラーニングcommons

#### 2. 中等部 校舎棟

共学化の準備と建物の維持管理を目的に、以下の改修を実施した。

- ① 女子トイレの新設
- ② 男子トイレの改修  
(工期:2022年10月1日～2023年4月15日)
- ③ 屋上シート防水の貼り替え
- ④ 教室出入口ドアの交換
- ⑤ 教室カーテンの設置  
(工期:2023年7月24日～2023年8月30日)
- ⑥ ロッカー扉の設置

#### ⑦ 掃除用具入れの交換

(工期:2024年3月29日～2023年4月5日)



中等部に新設された女子トイレ

#### 3. 高等部 校舎棟

2020年から設計事務所を中心とした教職員、生徒とのワークショップが開催され、共学化に向けた問題点を議論し、改善点が設計に盛り込まれた。

##### 【現状の問題点】

- ① 男子トイレが必要
- ② 教室が狭く、また、教室間の移動が不便
- ③ 教室内の視認性が悪く、安全上不安である

##### 【改善策】

- ① 東西2箇所のトイレを、男子トイレと女子トイレに分ける。
- ② 南東棟と南西棟において、内廊下と教室を隔てる間仕切り壁を撤去し3教室を拡張する。
- ③ 池を囲む回遊性のある渡り廊下を新設し、教室間移動の利便性と視認性を向上させる。

高等部の改修を進めるうえで特に考慮すべき点は、旧女子部エリアが東京都の指定有形文化財に登録されたことである。(2021(令和3)年3月31日認定)

文化財に指定された範囲(講堂、食堂棟、校舎4棟、体操館、池・樹木を含む景観)は、意匠、素材など当時の姿を変えずに保存することが求められる。

当校のように文化財に指定された建物を日常的に使い続けている例は極めて少ない。そのため、今回の改修も東京都教育庁と設計内容の精査と協議を重ね承認を得るに至った。文化財の中で日々生活している心の豊かさが自分達の校舎への愛着に繋がることを期待したい。

当初、高等部校舎棟の改修工事も共学化を迎える2024年3月までに完成する予定だったが、上記東京都との協議、建築確認など各種申請の手続きに時間を要することから、共学化に最低限必要なトイレ改修と教室拡張の工事を優先し、渡り廊下の新設工事と時期を分けることとした。

(一期工事:2023年11月1日～2024年3月30日)



新しい出入口が設けられた高等部校舎



高等部に新設された男子トイレ一期工事が完了し、2024年4月から男女共学の高等部がスタートした。新体制での日々の生活を損なわないよう、各校舎棟を繋ぐ渡り廊下作製(二期工事)は夏休みから開始される。

(二期工事予定:2024年7月22日～2025年2月28日)



高等部校舎 渡り廊下完成予想図

#### 4. 高等部 中央棟 (旧・女子部体操館)

これまで体育中心に利用されていた建物だが、今後は中等部のラーニングcommons同様、生徒の集いなど多目的な活用が検討されている。

そのことから空調設備が導入された。旧女子部体操館も指定文化財の建物であることから、体操館室内の意匠性を損なわないよう機械本体を後方収納庫の天井に配置し、体操館内には吹き出し口のみが見える案が採用された。

(工期:2024年2月6日～2024年3月30日)



高等部中央棟 室内